

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調査時点 2022（令和4）年10月1日
(2)調査対象期間 2022年7月～9月期の実績および2022年10月～12月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス・諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	17社	56.7%
水産業部会	30社	12社	40.0%
機械工業部会	30社	15社	50.0%
建設業部会	30社	17社	56.7%
観光・サービス業+諸業部会	30社	25社	83.3%
合計	150社	86件	57.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－今期の業況は前年同期よりも悪化。次期は更に悪化の見通し－

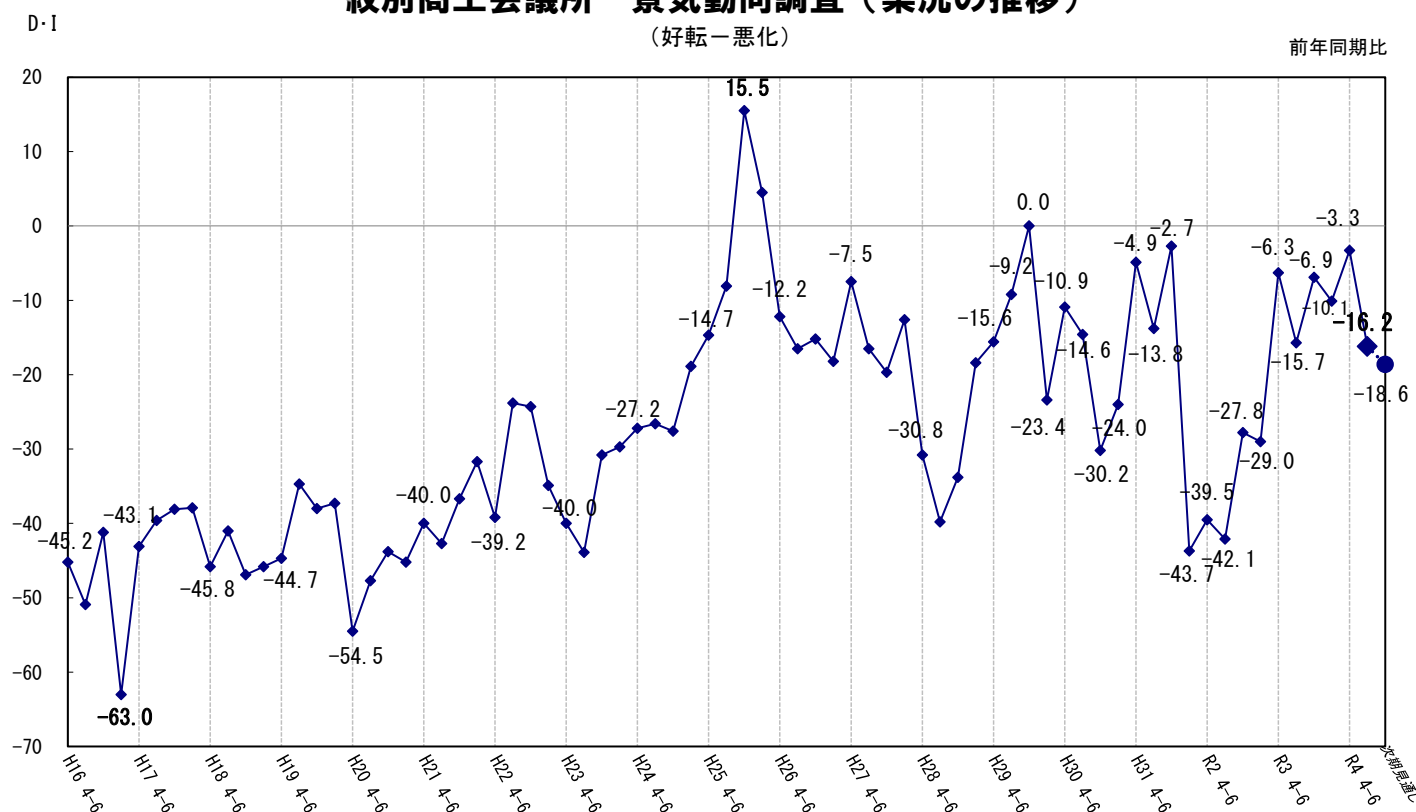
1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2022(令和4)年7月～9月)の全業種平均DI値**〔「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差〕は、**前年同期比▲16.2と前年同期▲15.7から0.5ポイント僅かに悪化**となりました。

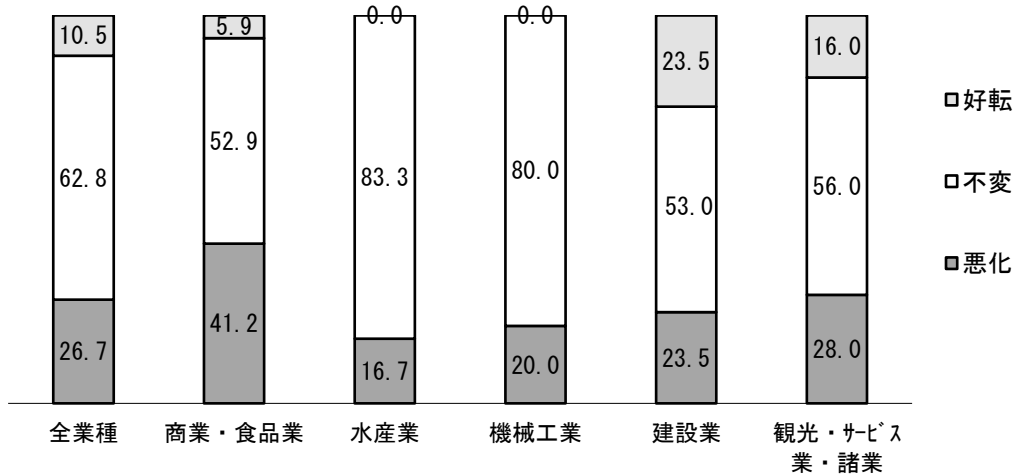
業況判断DIを前年同期と比べてみると、商業食品業〔前年DI値▲41.1→今期▲35.3〕、水産業〔前年DI値42.8→今期▲16.7〕、機械工業〔前年DI値▲20.0→今期▲20.0〕、建設業〔前年DI値▲16.7→今期0.0〕、観光サービス業・諸業〔前年DI値▲31.6→今期▲12.0〕と水産業が59.5ポイントの大幅な悪化の値を示しましたが、その他の業種では前年と比較して悪化の値が縮小された状況となりました。経営上の問題点は、「原材料・材料単価の上昇」「仕入れ単価の上昇」「従業員の確保難」多くなっています。

来期(2022(令和4)年10月～12月)については、業況判断DIは▲18.6と僅かに悪化する見通しとなっています。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)



今期の業況（前年同期比）



■部会別の動向

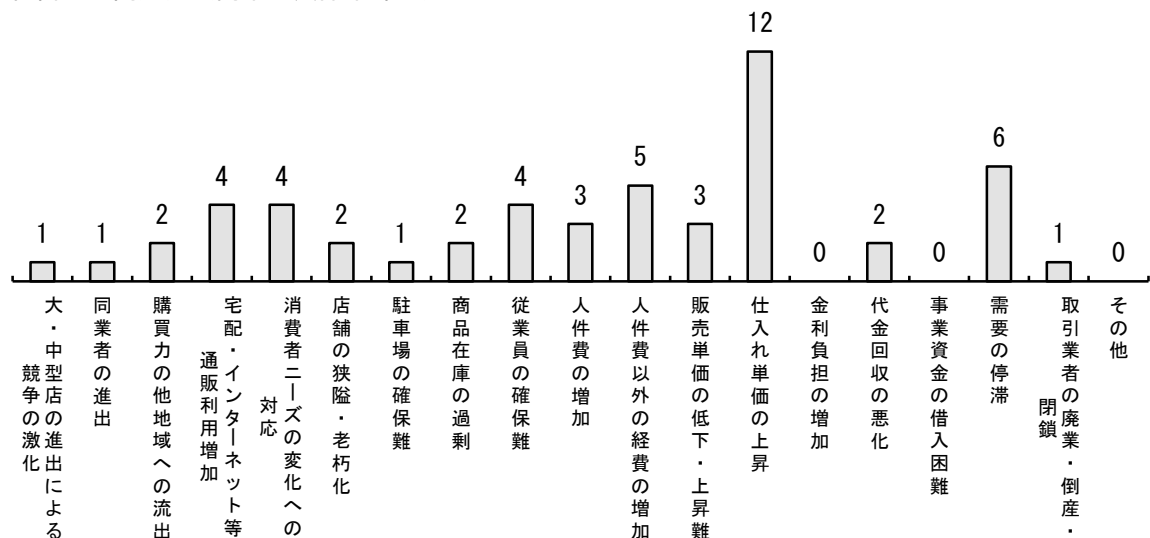
【商業・食品業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲35.3（前年 DI 値▲41.1、来期見通し▲64.7）〕

業況 DI 値（前年同期比）は、前年同期より 5.8 ポイント回復となりました。長引くロシアのウクライナ侵攻による原材料不足を起因とする仕入れ単価の上昇や、原油価格の高騰による経費の増加なども影響し、依然として悪化を示す値は大きいものの、全国旅行支援制度等によって、人流は徐々に回復傾向にあり、悪化が抑制されました。来期は、DI 値▲64.7 と 29.4 ポイントの大幅な悪化が見込まれています。経営上の問題点としては「仕入れ単価の上昇」を訴える声は突出し、次いで「需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

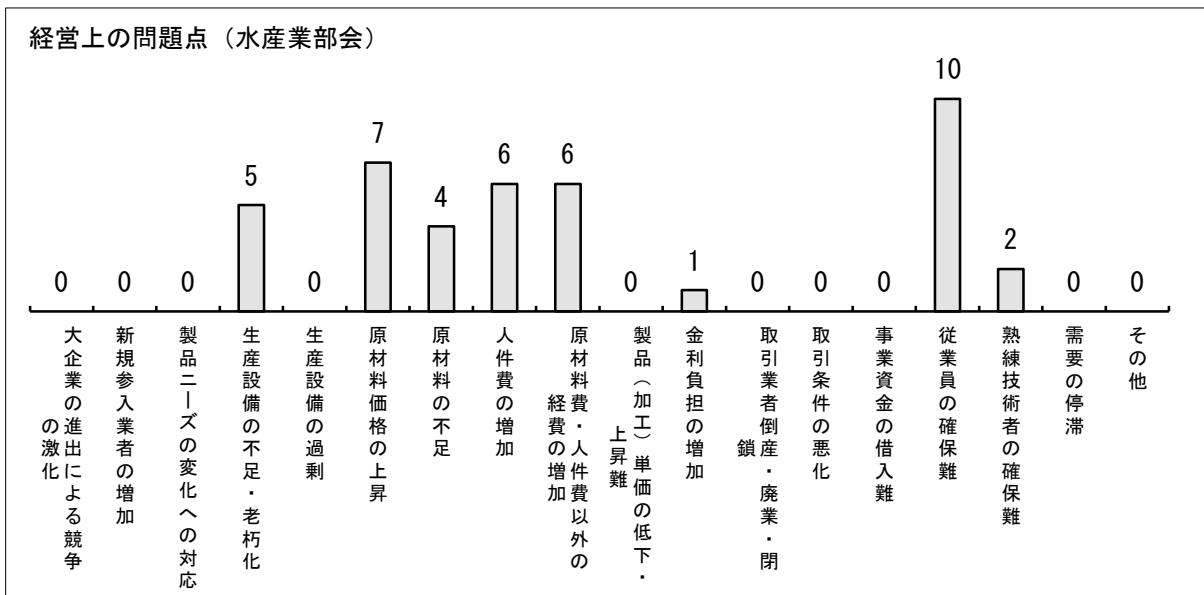
- ・タンクローリーの老朽化で補助金対象外でした。額が大きいので 8 月購入分でも対象にして対策をお願いしたいです。（燃料小売業）
- ・客数減少（医薬品・化粧品小売業）

経営上の問題点（商業・食品業部会）



【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲16.7（前年DI値42.8、来期見通し8.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前回調査時のプラスの値から59.5ポイント悪化し、大幅なマイナスの値となりました。昨年度、紋別市のふるさと納税は納税額で全国1位となったことで、ホタテやカニを中心とした水産加工品が更に注目を集め、需要の高まりから今年度も順調に推移しているとのことですが、原材料価格の上昇や人件費、資材等に係る経費の増加により、昨年よりも業況は悪化しているとの判断と考えられます。来期については、再びプラスの値まで回復する見通しとなっています。経営上の問題点としては、「従業員の確保難」、次いで「原材料単価の上昇」を訴える声が多くなっています。

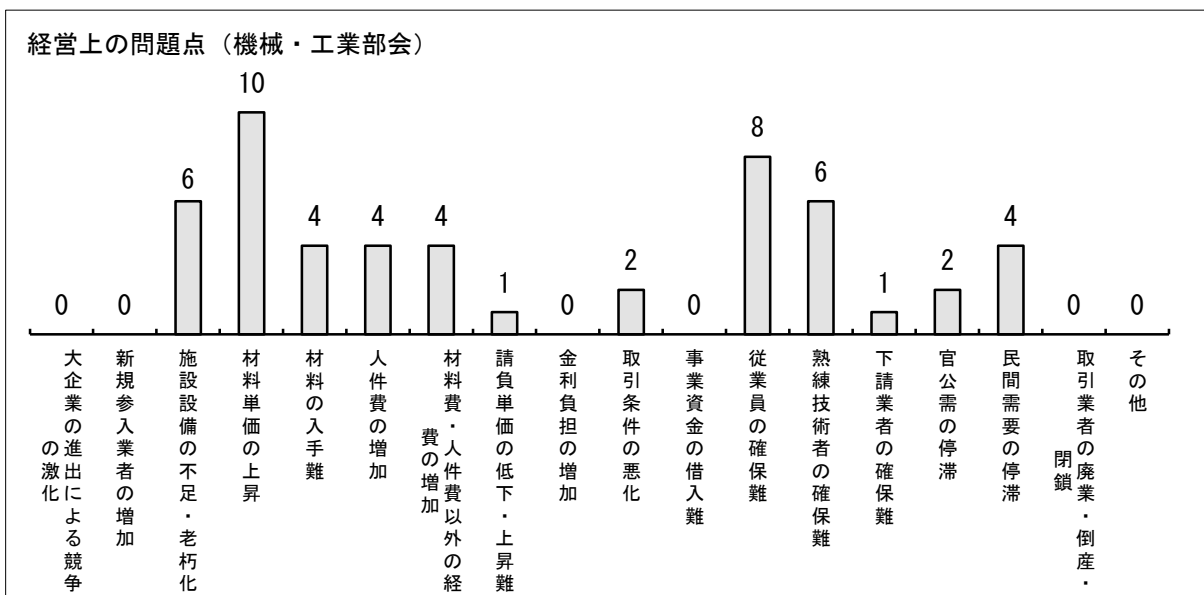


【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲20.0（前年DI値▲20.0、来期見通し▲13.4）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年同期と同ポイントとなりました。半導体不足による製品や部品の納期遅れによる品不足や、材料単価の上昇が業況悪化の一番の要因と考えられます。来期はDI値▲13.4と、僅かに悪化が抑えられる見通しとなっています。経営上の問題点として、「材料単価の上昇」「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」「施設設備の不足・老朽化」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 車両販売では、半導体不足とコロナ禍で新車受注後6ヶ月以上車が入荷になりません。タイプによっては、1年以上入荷しないので売上が出来ない状態。それに伴い、下取車が中古車として販売できない厳しい環境にあり、未だ先行きが不透明です。（自動車整備販売業）

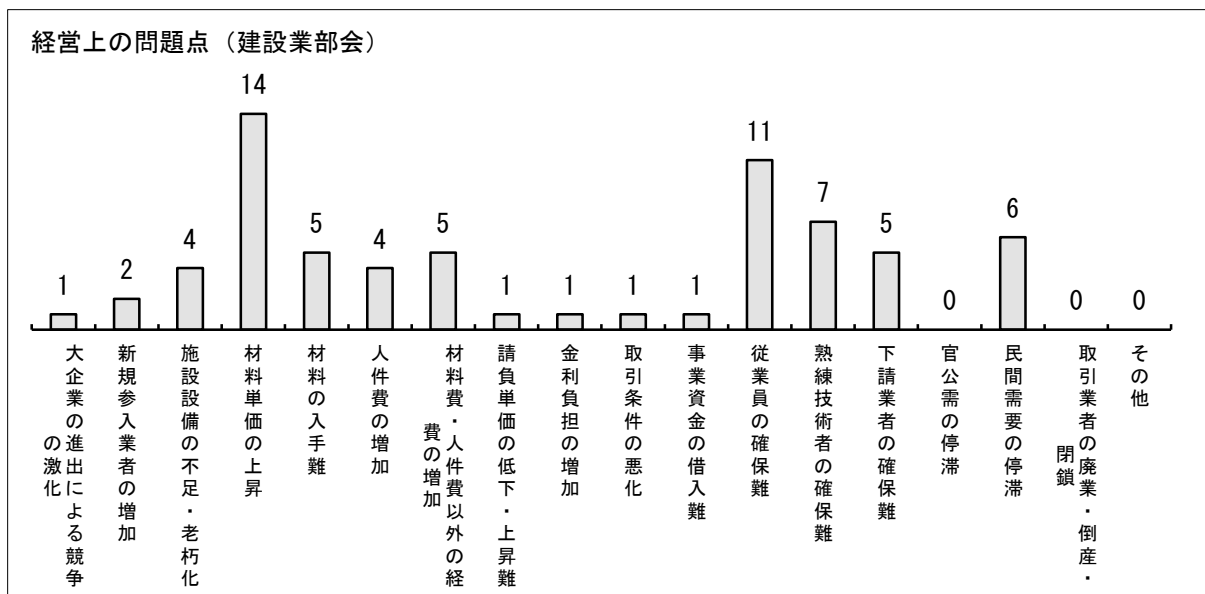


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）0.0（前年DI値▲16.7、来期見通し▲5.9）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、16.7ポイント回復となりました。唯一マイナスの値とならなかった建設業では、受注はあるものの、従業員の確保や材料確保に苦慮し、作業が難航しているとの声が寄せられています。しかしながら、紋別市の商業環境整備促進助成制度による店舗の改修の他、道路補修なども市内各所で実施されており、業況は安定しています。来期は今期よりもやや悪化する見通しとなっています。経営上の問題点としては、「材料単価の上昇」「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 高齢による作業難。従業員の確保が出来ない。（設備工事業）
- ・ 人手不足（土木工事業）

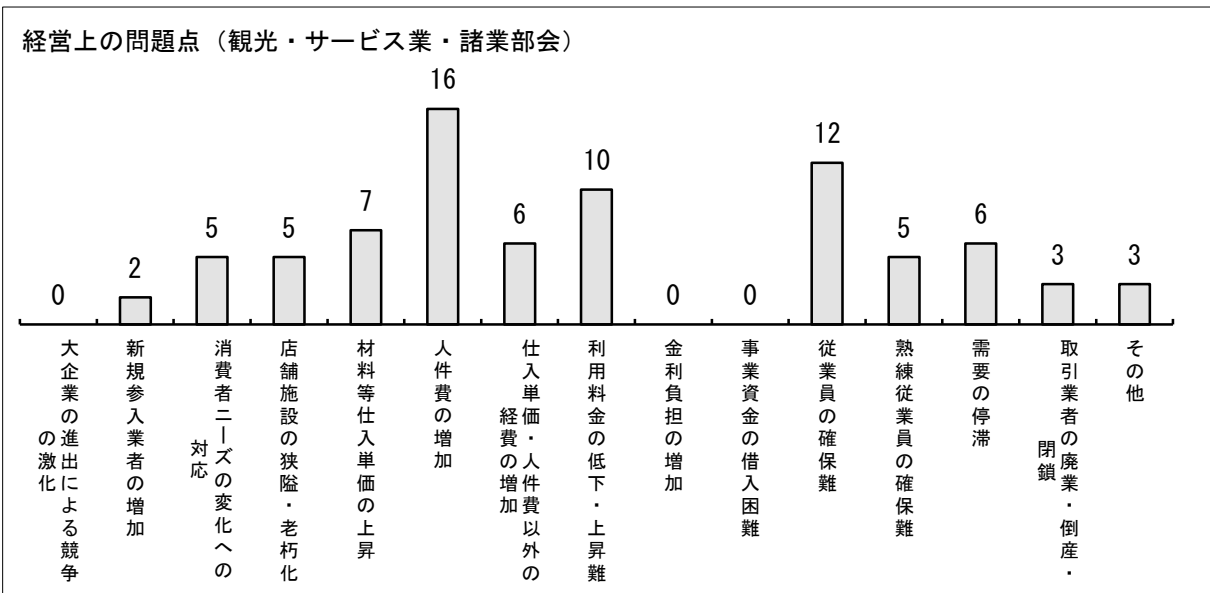


【観光サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲12.0（前年DI値▲31.6、来期見通し▲20.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、19.6ポイントの回復となりました。新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、初めての行動制限のない夏休みとなったことから、宿泊業では予約が困難になる時期があるなど、多くの観光客やビジネス客などの動きがみられ、悪化幅はやや落ち着きをみせました。介護関連ではコロナ対応の業務が多忙となり、職員研修に充てる時間が確保できないといった声も寄せられました。次期は、今期よりもやや悪化する見通しとなっています。経営上の問題点としては、「人件費の増加」「従業員の確保難」「利用料金の低下・上昇難」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 物価上昇による、仕入原価上昇。最低賃金上昇による人件費上昇などにより、経費の圧迫。（飲食業）
- ・ 個人経営も大企業並みの制度の改正を求められる事。例えば3人で商売しているものが、産休・育休などのため商売が成り立たなくなる事による休業や廃業。（飲食業）
- ・ 労働時間の短縮、運賃の低料金の定着、燃料価格の高騰。（貨物運送業）
- ・ 人口減少に伴う需要の減少（旅客運送業）
- ・ 一般のお客様の利用減少。（旅客運送業）
- ・ デジタル化が進んでいる。（理美容業）
- ・ 材料費、燃料費の上昇。（クリーニング業）
- ・ コロナ等で業務が忙しすぎて、研修時間等の確保ができない。（介護福祉業）

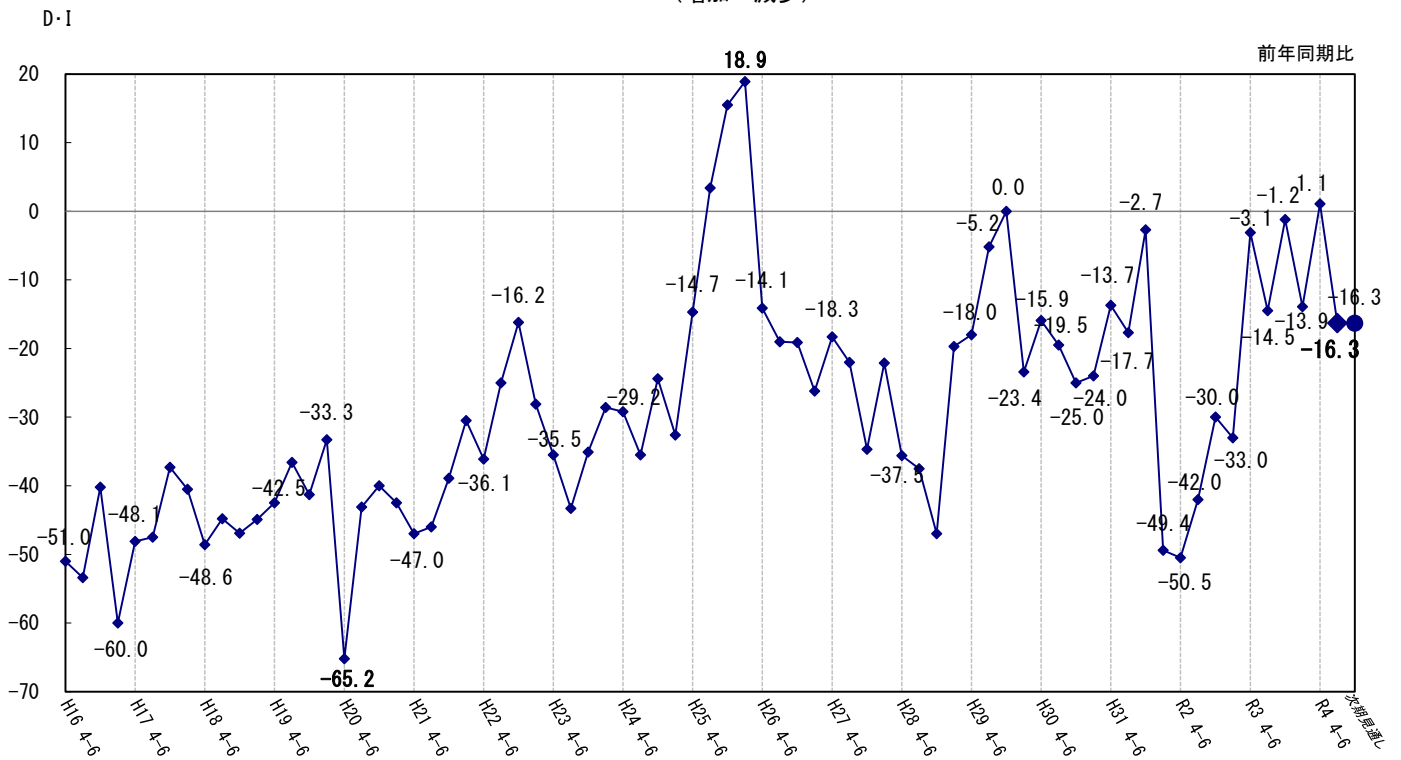


2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

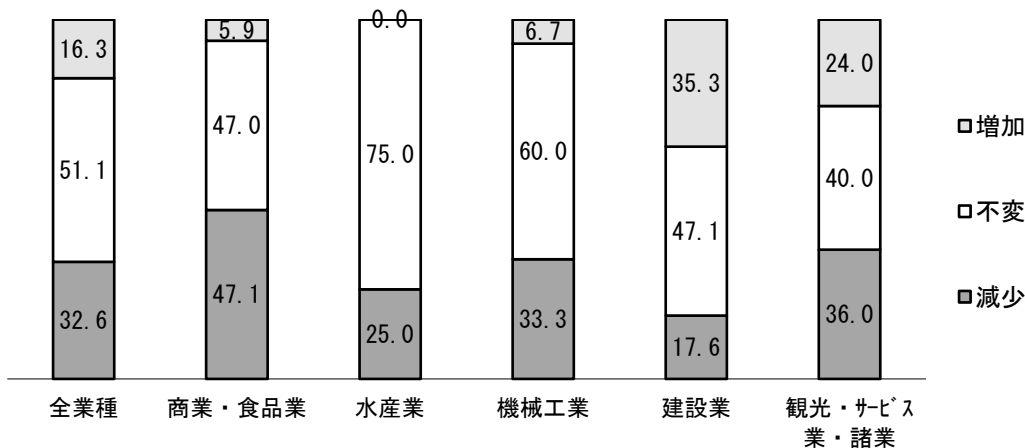
売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



【前年同期比】（2021（令和3）年7月～9月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高・生産高（前年同期比）



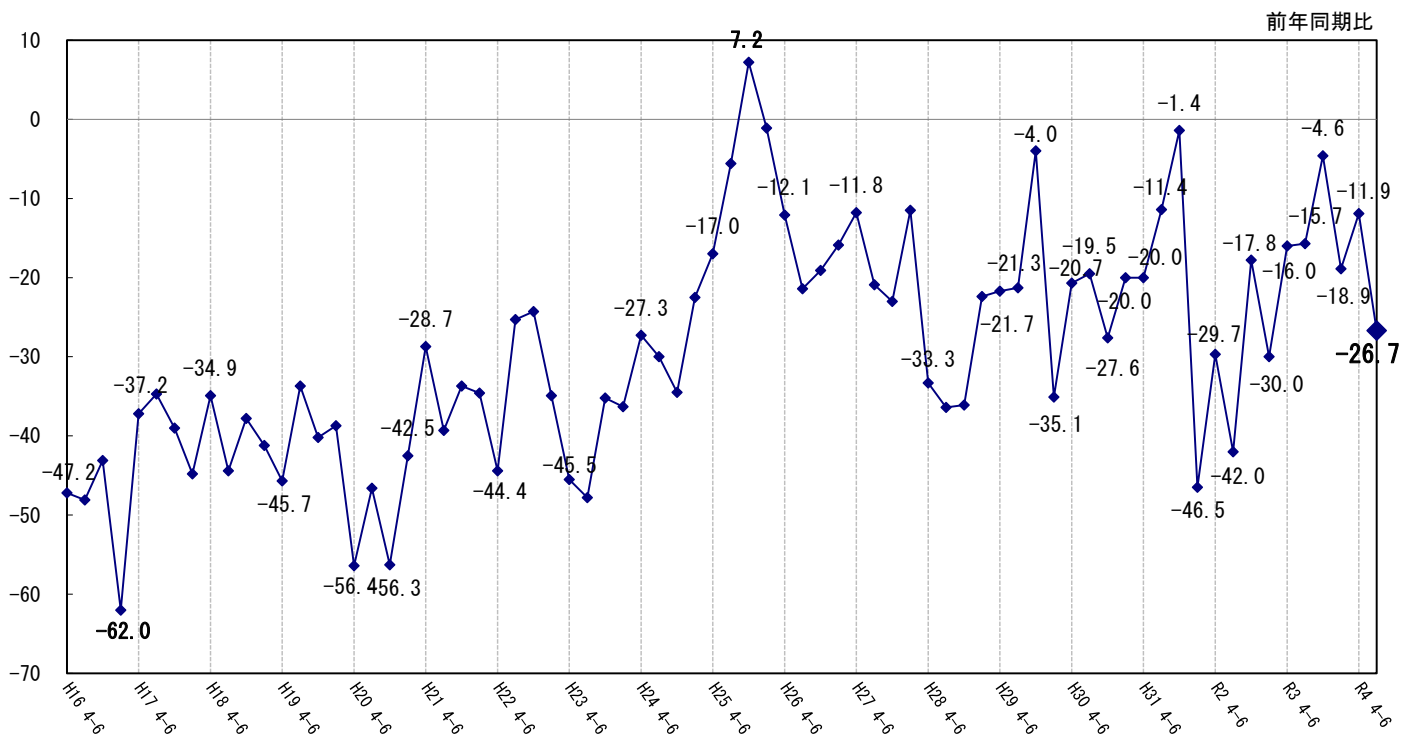
全業種平均でDI値▲16.3〔前年調査時（2021年7～9月期▲14.5）より1.8ポイント悪化〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲47.0→▲41.2〕、水産業〔前年50.0→▲25.0〕
 機械工業〔前年▲20.0→▲26.6〕、建設業〔前年▲11.1→17.7〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲31.6→▲12.0〕

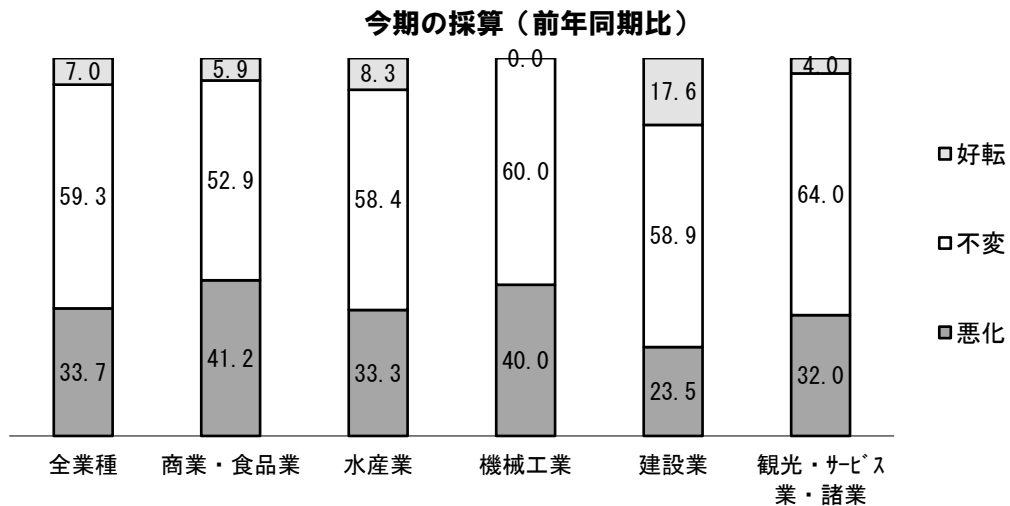
(2) 今期の採算

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



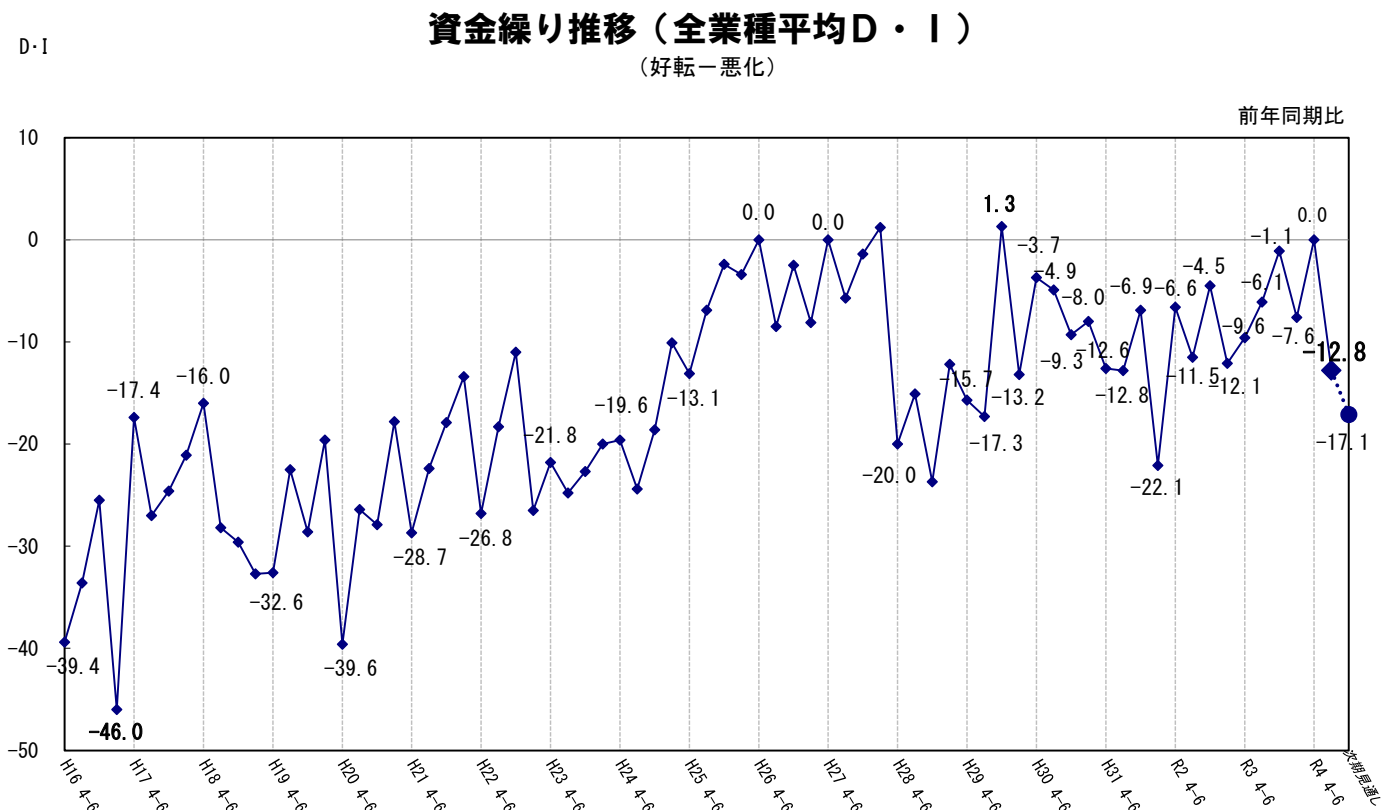
【前年同期比】（2021（令和3）年7月～9月期の水準と比較した今期の採算水準）



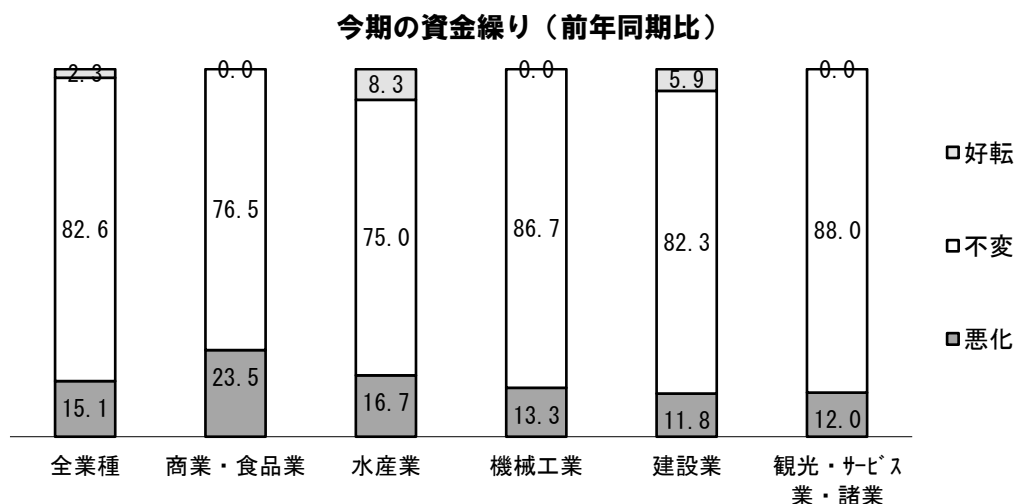
全業種平均でDI値▲26.7〔前年調査時（2021年7～9月期▲15.7）より11.0ポイント回復〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲47.0→▲41.2〕、水産業〔前年▲42.8→▲25.0〕
 機械工業〔前年▲20.0→▲26.6〕、建設業〔前年▲16.7→17.7〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲26.3→▲12.0〕

(3) 今期の資金繰り



【前年同期比】（2021（令和3）年7月～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）

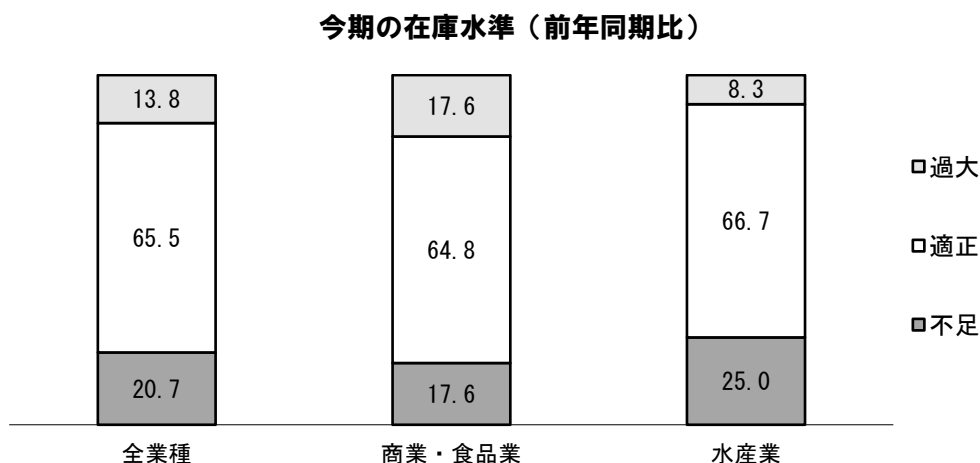


全業種平均でDI値▲12.8〔前年調査時（2021年7～9月期▲6.1）より6.7ポイント悪化〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲29.4→▲23.5〕、水産業〔前年21.4→▲8.4〕
 機械工業〔前年▲7.1→▲13.3〕、建設業〔前年0.0→▲5.9〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲10.5→▲12.0〕

(4) 今期の在庫水準

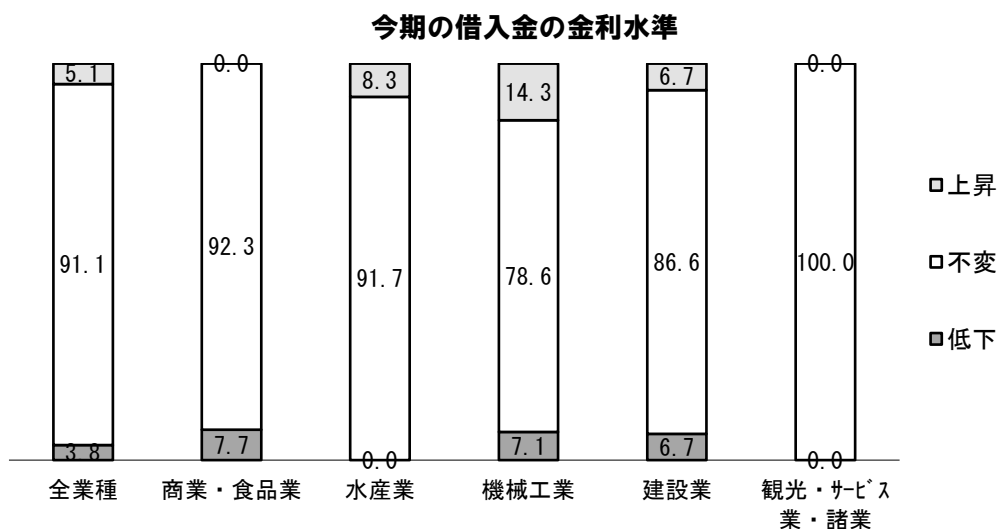
【前年同期比】（2021（令和3）年7月～9月期の水準と比較した今期の在庫水準）



全業種平均でDI値▲6.9〔前年調査時（令和3年7～9月期3.3）より10.2ポイント不足〕
 〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→0.0〕、水産業〔前年7.1→▲16.7〕

(5) 今期の借入金の金利水準

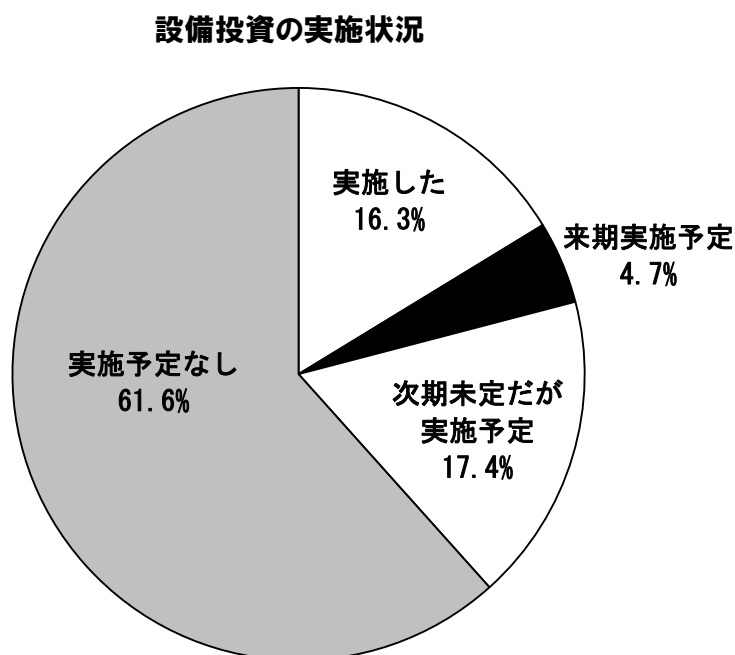
【前年同期比】（2021（令和3）年7月～9月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で▲1.3。商業食品業▲7.7、水産業 8.3、機械工業 7.2、建設業 0.0、観光サービス諸業 0.0。

(6) 設備投資の実施状況

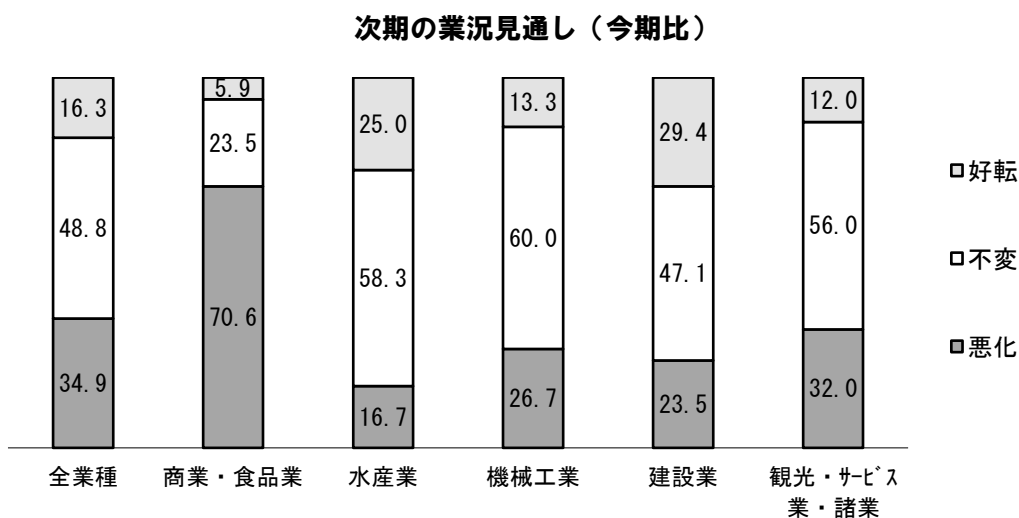
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況見通し

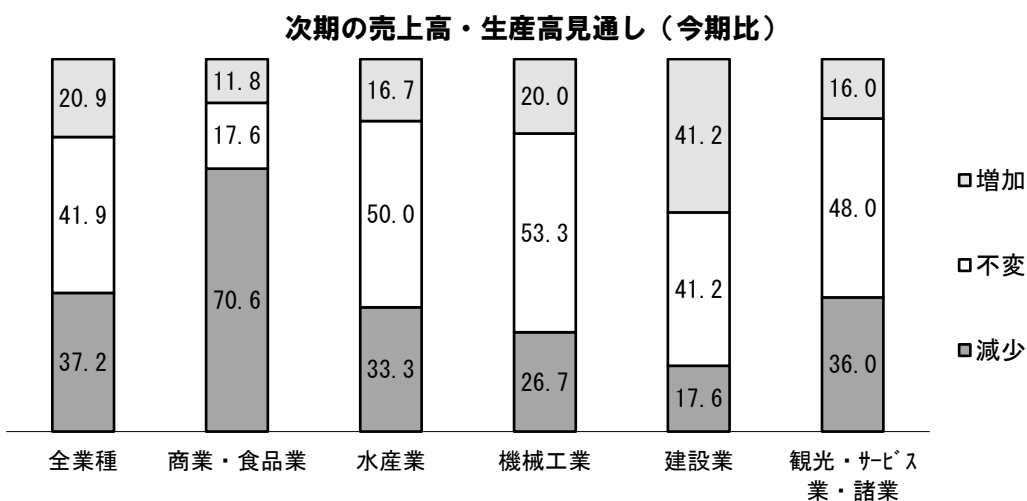
【今期比】（2022（令和4）年7月～9月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均DI値▲18.6 [今期の業況▲16.2と比較し、2.4ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高見通し

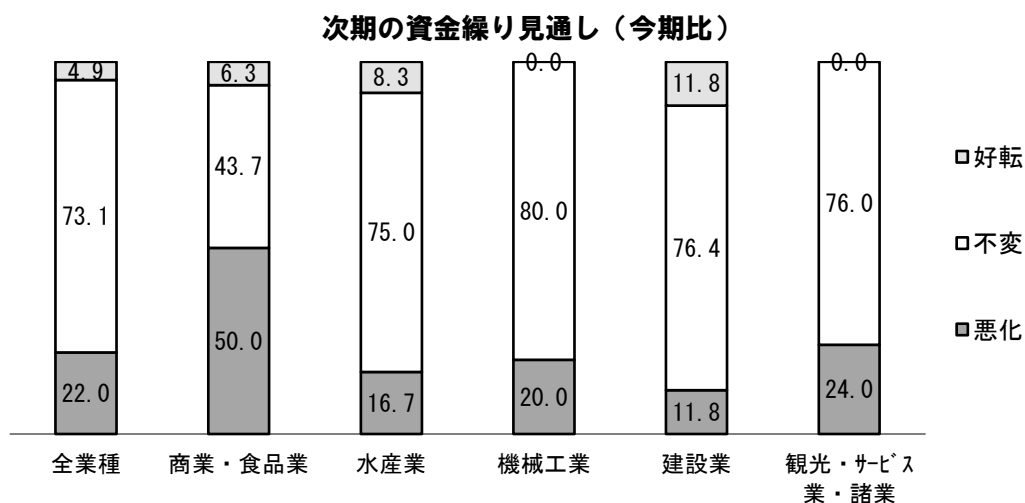
【今期比】（2022（令和4）年7月～9月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均DI値▲16.3 [今期の売上高・生産高▲16.3と比較し、同ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】(2022(令和4)年7月～9月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し)



全業種平均DI値 ▲17.1 [今期の資金繰り▲12.8より4.3ポイント更に悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サービス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲16.2	▲35.3	▲16.7	▲20.0	0.0	▲12.0
	来期見通し	▲18.6	▲64.7	8.3	▲13.4	5.9	▲20.0
売上高・ 生産高 D・I	今期実績	▲16.3	▲41.2	▲25.0	▲26.6	17.7	▲12.0
	来期見通し	▲16.3	▲58.8	▲16.6	▲6.7	23.6	▲20.0
在庫 D・I	今期実績	▲6.9	0.0	▲16.7	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲26.7	▲35.3	▲25.0	▲40.0	▲5.9	▲28.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲12.8	▲23.5	▲8.4	▲13.3	▲5.9	▲12.0
	来期見通し	▲17.1	▲43.7	▲8.4	▲20.0	0.0	▲24.0
借入金 金利水準 D・I	今期実績	1.3	▲7.7	8.3	7.2	0.0	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

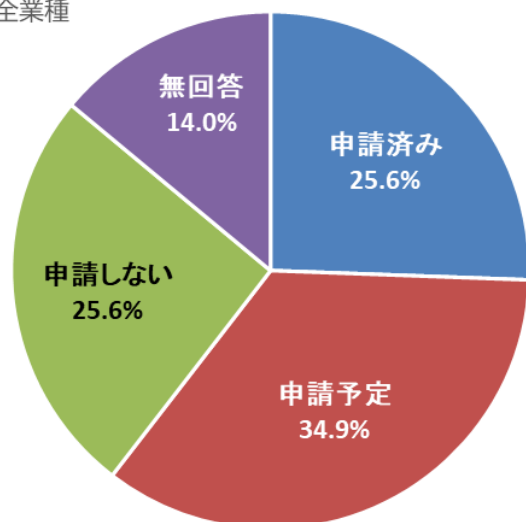
※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。

Ⅳ. インボイス制度への対応状況について

2023年10月に始まる消費税インボイス制度について、日本商工会議所と東京商工会議所による調査結果（2022年5月調査）では、「インボイス制度導入に向けて特段準備をしていない事業者」の割合は42.2%、売上高1000万円以下の事業者では60.5%に上り、小規模事業者ほど準備が進んでいない実態が浮き彫りとなっています。一方で、税負担増による資金繰り、利益減少の懸念から、インボイス制度開始後の免税事業者と「取引しない」「一部を除いて取引しない」「経過措置の間は取引を行う」との回答は28.4%となり、今後更に増加する予測もされることから、今回、インボイス制度の対応状況等について調査しました。

【インボイスの申請状況】

全業種

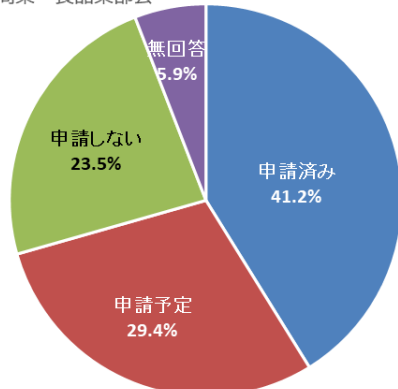


全業種で見ると、申請済み、申請予定を合わせると60.5%が対応する見込となっています。

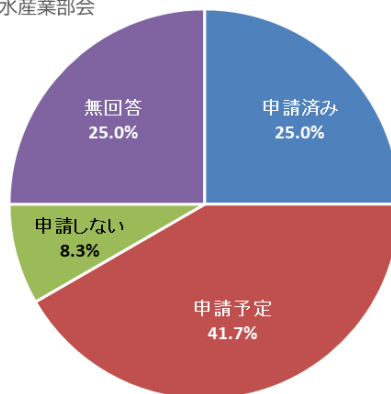
業種別で見ると、「申請済み」との回答が最も多いのは「商業食品業」で、次いで「建設業」となりました。

「申請済み」「申請予定」を合算すると、建設業では82.3%と高い比率で対応する状況となっています。一方、「一般消費者」が主な顧客となる「観光サービス業諸業」では、「申請しない」との回答が48.0%と、約半数がインボイスへの対応はしないという結果となりました。

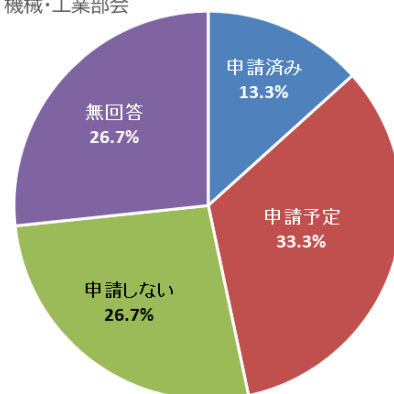
商業・食品業部会



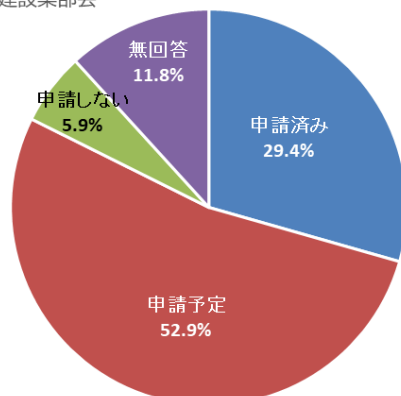
水産業部会



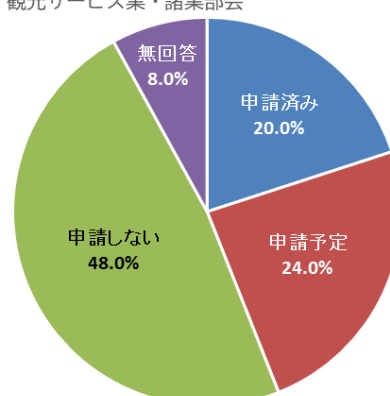
機械・工業部会



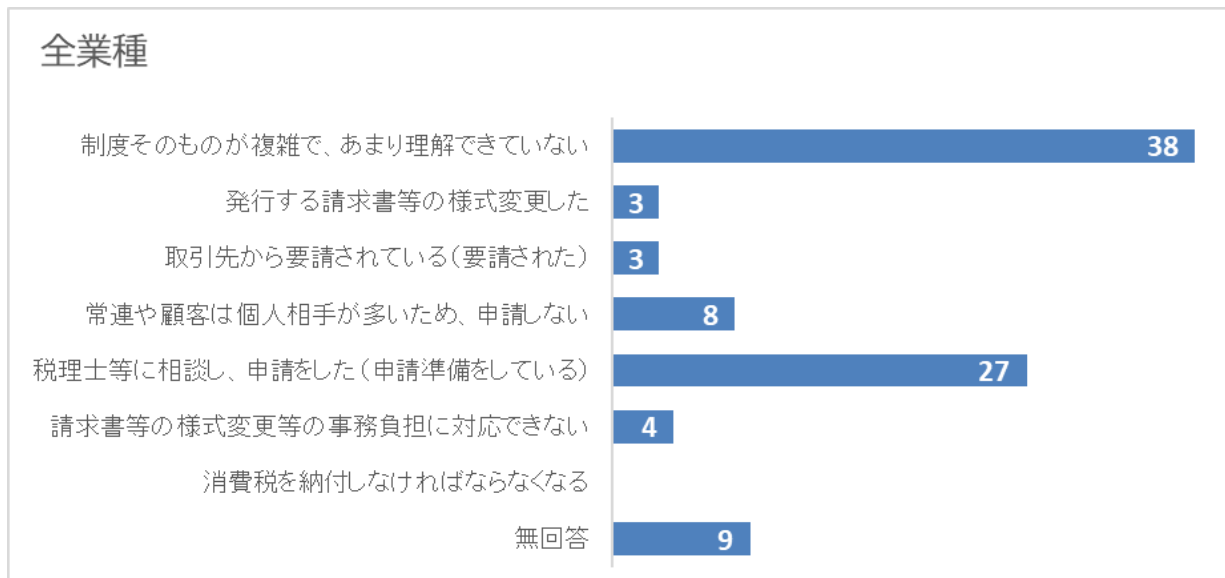
建設業部会



観光サービス業・諸業部会



【インボイスの懸念事項】



その他の意見

- ・対応ソフトの購入に費用がかかり、負担大です。(室内装飾)
- ・基本的には個人相手が多いですが、念の為申請する予定です。(旅客運送業)